

特集

光明の 花拓く



—毛呂山総合公園プール跡の花蓮栽培—



毛呂山町に、広大な蓮池^{はす}があることをご存知ですか。総合公園プールの跡地で蓮が栽培され、今年、2度目の公開を迎えています。

蓮の栽培は、平成23年にスタートしました。その年、行田市から貴重な古代種「行田蓮」を分けていただき、苦心の末、翌年に栽培を成功させます。それをきっかけに事業が発展し、着手から3年目の昨年、ついに一般公開が始まりました。

夏に咲く蓮の花は、夜明けに開き風に花びらを閉じるため、限られた時間しか見ることが出来ません。しかし、泥中^{ぬいぢゆう}からまっすぐ伸びた茎^きに咲く大輪の花は、その清らかな美しさで見る人の心を魅了します。

昨年の公開では、人づてに評判が広がり、5千人以上が、かつてのプールだった場所に足を運びました。蓮の美しさに感動する中にまじって、時折「懐かしい」という声が聞こえたといえます。





総合公園プール



公園プールに6000人

7月1日にオープンしたばかりの総合公園プールに、3月1日現在、今夏最高の6000人が訪れた。近隣にない本格的な総合プールであって、町内はもとより近所からも、遠くの海より多くの人が、さばかりに、たまたまの人出であった。総合公園プールで記念切手を発売し、観光客に引きつけて、5月15日現在、公園プール入浴で、臨時出張所を設置して、各種記念切手を発売した。

発売時間 午前10時～午後3時

総合公園プールは、昭和58年、当時近隣市町に無い大型のプールとして、開業しました。

毎年、町内外から多くの人々が訪れ、最盛期にはシーズン中12万人の来場を記録しました。

しかし、年々利用者が減少していったことや、老朽化する施設を直すのに多額の費用がかかるなど、その維持が困難となり、平成18年に24年の歴史に幕を下ろしました。

一度は用途を失った場所が、蓮の力で活気を取り戻そうとしています。毛呂山町の豊かな自然に囲まれた、虫や鳥、そして人の集まる癒しの空間が誕生しました。

今年の夏は、蓮池の畔^{ほとり}で、ゆっくりと時間をお過ごしください。



▲プールの盛況ぶりを伝える「広報もろやま」昭和58年8月25日号

蓮の一年



蓮の植え替えは、3月中旬に行われます。泥中で冬を越した地下茎（レンコン）を掘り出し、選別して植えなおす作業です。

地下茎は傷が付くと、そこから腐ってしまうため、掘り出しは手作業で、特に丁寧に行われます。掘り出した地下茎を水で洗い、育ちの良い物だけを堆肥などをよく練り込んだ土の中に戻します。

4月下旬、水面に葉が顔を出し始めます。蓮の葉は、水面に浮く『浮き葉』と、水の面上に立つ『立ち葉』の2種類に分けられ、どちらにも撥水性があるため、弾かれた水滴は、跳るようにキラキラと輝きます。

同じころ、水の中に藻が生えるようになります。葉や蕾に絡みつく成長を妨げるため、熊手などを使って取り除きます。





5月下旬、立ち葉に寄り添うように『花芽』が伸び出します。茎の先端についた小さな芽は、約20日かけて大きく膨らみます。

6月中旬、いよいよ花の季節を迎えます。蓮の花の開花のサイクルは4日間。蓮池いっぱい伸びた花芽は、夏の終わりまで、この4日間を繰り返します。1日目、蓮は、早朝に少しだけ蕾を開き、日が昇るにつれ花を開じます。2日目、同じように蕾を開いた蓮は、この日、最も美しいともいわれる大輪の花を咲かせませす。3日目も同様に花を開いた蓮は、次の日、全ての花びらを落とします。

9月上旬には最後の花が散り、『花托（花の跡）』が残ります。花托には穴があり、その中に種子が実っています。乾燥した種や花托を取ると、蓮池は冬を迎え、残された地下茎は、また訪れる春を待ちながら暖かい泥中で眠りにつきます。

蓮池作りの立役者

蓮の栽培には、一年を通しての多くの世話が必要です。また、総合公園では一般公開までに、蓮の育成だけでなく施設の美化なども必要でした。そんななか、熱心に手をかけてくださったのが、大谷木地区にお住まいの福田さんご夫婦でした。自宅で栽培していた蓮をご提供いただいたご

縁で、その後の栽培にも積極的に取り組んでいただき、今日の公開に結びつきました。また、福田さんの献身的な姿を見て、私も役に立てればと、多くの人が集まりました。多くの皆さんのご協力のおかげで、総合公園プール跡は、見事な蓮池へと生まれ変わりました。

インタビュー

花蓮育成スタッフ

福田 静子さん

公開まで、いろいろな思いがありました。だからこそ、見に来てくださった人に「きれい」「すごい」と言っていた際には、感動で涙が出てきました。蓮が咲いたときも感動しますが、お客さんの声が一番励みになりました。

昨年的一般公開終了後から、今年の開園が楽しみで準備をしてきました。今年は、花托や種で作った手芸品の展示もあります。お子さんや、蓮に詳しくない人にも楽しんでもらえるような工夫をこらしてお待ちしています。

催し物

『軽トラ市』

軽トラ市とは、軽トラックの荷台を屋台に見立てた朝市です。朝収穫したばかりの新鮮な野菜などを積んで、総合公園に集まります！

日 7月12日(出)、26日(出)、8

月2日(出)午前7時から

※なくなり次第終了

場 毛呂山総合公園プール跡

地北側

問 役場産業振興課商工観光

係 ☎ 295-2112 内線

171



※写真は「カボチャと新鮮野菜の朝市」のものです。

『花蓮光明まつり』

日にち 7月26日(出)

時間 第1部/午前6時~正

午、第2部/午後4時~8

時

※準備のため、正午~午後4時の間は入園できません。

内容 第1部/ゆず娘写真撮

影会など、第2部/民謡、

『光竹の祈り』(灯籠による

花蓮のライトアップ)



花蓮のライトアップの様子

※第2部に浴衣・甚平で来場の先着100人に、オリジナ

ルてぬぐいを差しあげます。

料 無料

問 役場産業振興課商工観光

係 ☎ 295-2112 内線

171

『手作りコースター教室』

蓮の茎から取れる繊維を何

本もより合わせると、丈夫な

糸になります。この講座で

は、その貴重な糸を使い、手

織りのコースターを作りま

す。あなただけのオリジナル

のコースターをつくりませ

か。



※写真はイメージです

日 7月12日(出)、26日(出)、8

月9日(出)午前10時(製作に

は約1時間30分かかりま

す)

※雨天時は、翌日に延期す

る場合があります。

料 500円(材料費)

※当日集金します。

定 各回先着10人

※製作には蓮の糸以外も使用

します。

問・問 役場産業振興課商工

観光係 ☎ 295-2112

内線171

花蓮育成スタッフによる紙芝居読み聞かせ

町内の幼稚園、保育園で紙芝居の読み聞かせを行っている馬場通男(みちお)さんが、蓮池でも読み聞かせを行っています。ご家族で物語の世界を楽しんでみませんか。



馬場 通男さん

日 開園期間中不定期

問 園内で馬場さんを見かけ

たら、声をかけてみてくだ

さい。

問 役場産業振興課商工観光

係 ☎ 295-2112 内線

171

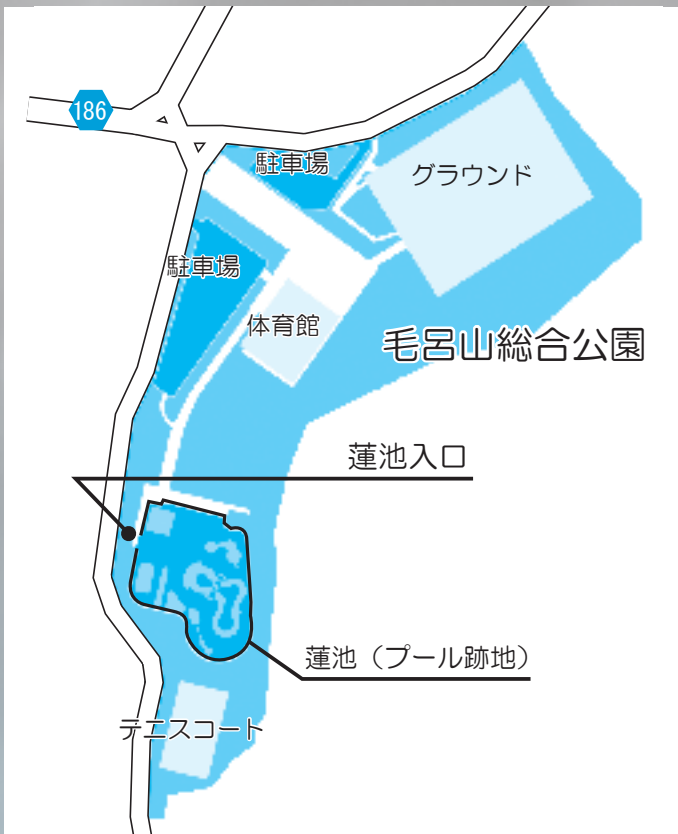
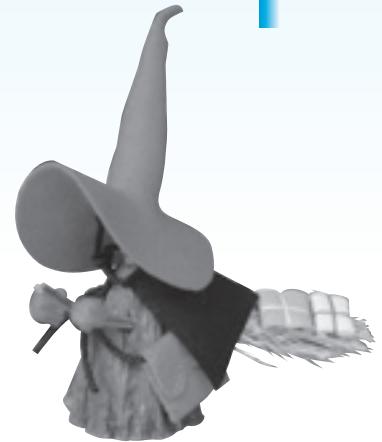
特集

光明の花拓く



蓮の花托や種は、乾燥させると硬くなり、古くから様々な細工が作られてきました。総合公園でも、花蓮育成スタッフが作成した人形たちが、蓮池の周りを賑わせています。お立ち寄りの際は、ぜひお近くをご覧ください。

蓮の工芸



場 毛呂山総合公園プール跡地(大谷木443)
日 8月20日(水)まで午前6時〜正午
※天候などの理由で休園となる場合があります。
料 無料
※お車でお越しの人は総合公園内駐車場(無料)をご利用

アクセス

ください。
※ペットを連れてのご入園はご遠慮ください(補助犬は可)。
主催 毛呂山町観光協会花蓮研究会
間 毛呂山町観光協会(役場産業振興課内) ☎295-2112内線171